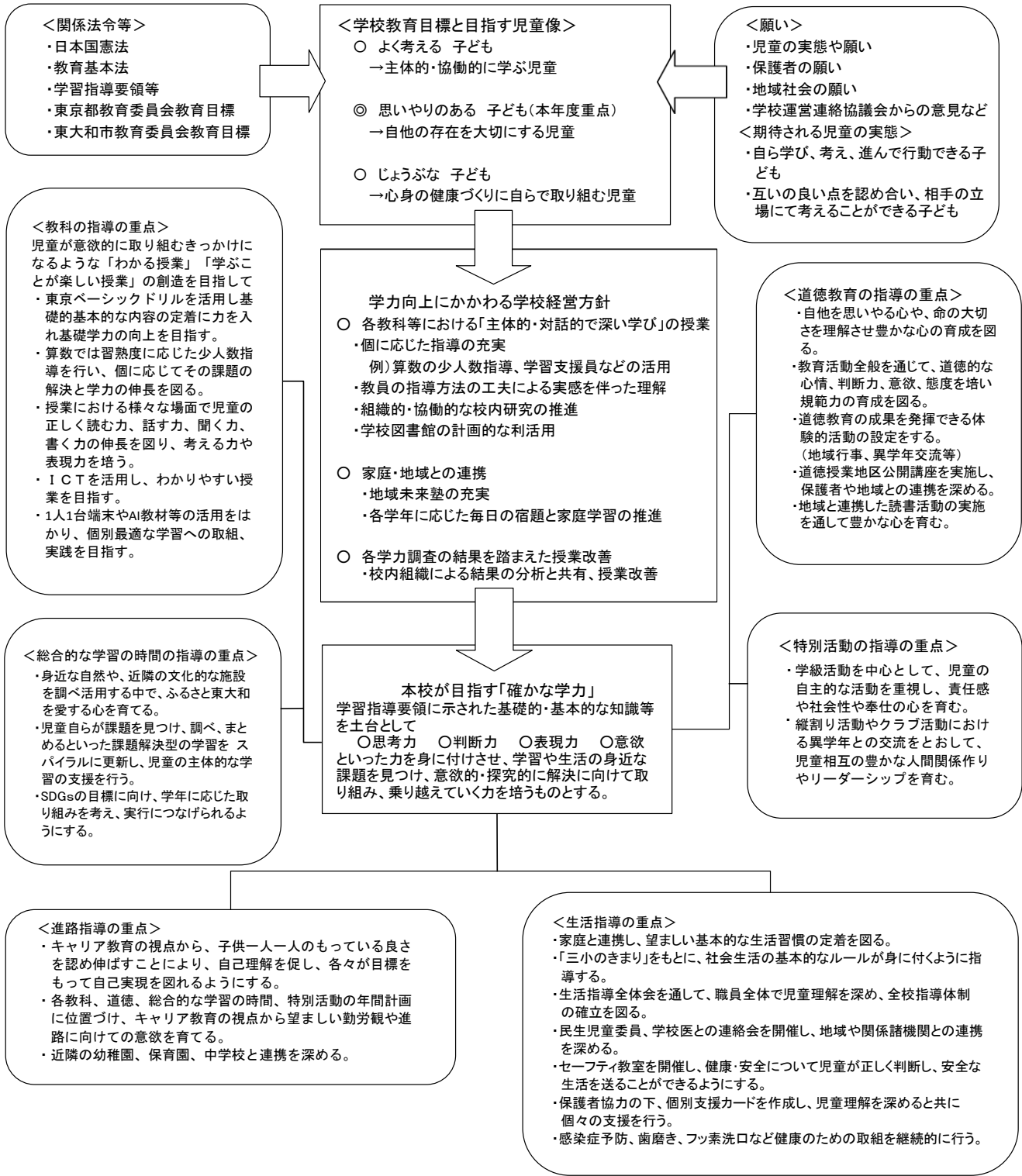


令和7年度 学力向上に向けた全体計画

東大和市立第三小学校



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の徹底 ・東京ベーシックドリルを活用し、基礎基本の徹底を図る。 ・体験的な活動を重視し、実感を伴った理解を図る。 ・漢字の習得や文章表現の継続的指導 ・ICTの活用推進と、プログラミング教育の確実な実施。 ・文章を読み取り、正しく理解することを各教科で重視する。 ・朝学習や地域未来塾の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数における習熟度別の少人数指導を実施し、基礎基本の定着を目指す。 ・朝読書と読書週間(年2回)の実施。 ・支援学級との交流や共同学習の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習を中心に、校内研究に取り組み、探究的な学びに向かう姿勢を育てる。 ・問題解決的な学習展開や協動的な学びの実現。 ・低・中・高学年分科会における研究会の実施。 ・指導主事と連携し、児童が主体的に学ぶための指導の進め方について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び保護者による学校評価の実施。また、保護者や地域の方からなる学校運営連絡協議会委員による外部評価を実施して、分析し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携した読み聞かせ活動の実施。 ・道徳授業地区公開講座 ・教育ボランティアによる授業補助。 ・年3回の学校(授業)公開 ・地域の人材を生かした授業・行事の取り組み。 ・年10回の「Let'sスクサポ」(学校運営協議会)の実施。